



令和6年1月
熊本保健科学大学
医学検査学科

同窓会だより

令和
5年度

熊本保健科学大学 医学検査学科同窓会 総会

開催日

令和6年 **3月30日(土)** 16:30～

会場

KKRホテル熊本 2階 城彩の間

〒860-0001 熊本市中央区千葉城町3-31 TEL.096-355-0121

お問合せ

〒861-5598 熊本市北区和泉町325

熊本保健科学大学 医学検査学科同窓会（総務担当：野中喜久）

TEL.096-275-2183 E-mail egdousou@kumamoto-hsu.ac.jp

❀ ごあいさつ ❀

熊本保健科学大学医学検査学科同窓会

会長 原田 精一



新年あけましておめでとうございます。新春を迎え同窓生の皆様の益々のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

さて、ご存じの通り新型コロナウイルス感染症は令和5年5月2日より感染症法の「5類感染症」に分類されたことにより、これまでの種々の規制が緩和され概ねコロナ前の日常に戻りつつあります。

同窓会においてはコロナ禍の間、例年実施していた講演会・懇親会を中止し、令和2年度以降総会のみの開催とさせていただきます。今年度は4年ぶりに令和6年3月30日(土)に総会及び講演会・懇親会を「KKRホテル熊本」にて開催いたします。また、以前からお知らせしていました「同窓会創立60周年記念式典」も同時に開催させていただきます。創立60周年記念式典事業については、昨年同窓生の皆様に「同窓会創立60周年記念事業に関する寄附」をお願いしましたところ、285名の方からご賛同いただき1,081,669円のご寄附をいただくことができました。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

本学は昭和34年4月に旧化血研内に「化血研衛生

検査技師養成所」として創設され、翌35年に「熊本医学技術専門学校」と名称変更されました。その後、昭和43年4月に「銀杏学園短期大学」、そして平成15年4月に4年制の「熊本保健科学大学」へと改組転換されました。同窓会も創設当時に創立され、同窓会組織も当時よりそのまま引き継がれました。銀杏学園短期大学当時の同窓会名称は「銀杏学園短期大学同窓会」でしたが、平成15年4月に熊本保健科学大学が開学されると「熊本保健科学大学衛生技術学科同窓会」、平成23年4月からは学科名が「衛生技術学科」から「医学検査学科」と変更になり、「熊本保健科学大学医学検査学科同窓会」として現在に至っています。

今回の講演会は、本学学長の竹屋元裕先生に講演をお願いしました。先生が学長に就任された令和元年度の講演会で講演をいただく予定でしたがコロナ禍で中止せざるをえなくなり、今回改めて講演をお願いした次第です。竹屋先生のご祖父、竹屋男網先生は旧化血研の第4代理事長・所長に就任され、その後「学校法人銀杏学園短期大学」の初代理事長・学長にも就任されています。

4年ぶりの講演会・懇親会となりますので、是非多くの皆様の参加をお願い致します。

最後になりますが同窓会の運営について、皆様のご意見・要望などございましたら事務局まで連絡いただけると幸いです。今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

熊本保健科学大学 60周年記念事業

記念講演会・式典・懇親会のお知らせ

会員各位

平成24年に同窓会50周年を挙行し、それから10年が経過いたしました。
この度、熊本保健科学大学医学検査学科同窓会60周年記念事業を実施いたします。
記念講演会として熊本保健科学大学学長 竹屋元裕先生より、現在のお仕事、本学の
歴史、また初代学長の竹屋男綱先生の思い出などをご講演いただきます。
同窓会員の皆様、関係者各位のご参加をお待ちしております。

日時 令和6年(2024年)3月30日(土)

場所 K K R ホテル熊本

(〒860-0001 熊本県熊本市中央区千葉城町3-31 TEL 096-355-0121)

16:30～17:00 同窓会総会(会員のみ)

2階 城彩の間

17:00～18:00 記念講演会

演者 熊本保健科学大学 学長 竹屋元裕 先生

2階 城彩の間

18:00～18:30 記念式典

2階 五峰の間

18:30～

懇親会

2階 五峰の間

会費 懇親会費用のみ(6500円)

参加申し込み:総会、講演会、式典は申込不要

懇親会申し込みは 令和6年(2023年)3月1日(金)までに
返信ハガキ又は下記までお申し込みください。



上記QRからも
申し込み可能

T E L 096-275-2183

メール nonaka@kumamoto-hsu.ac.jp

F A X 096-245-3172

申し込みに必要な内容: 氏名

卒業期(同窓生の方のみ)

対 談 コー ナー



左から
医学検査学科 4 年
里見さん、工藤さん、添島さん



古庄さん

法改正によって臨床検査技師の業務が拡大され、各都道府県においてタスクシフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会が開催されています。対談者の古庄誠二さんは銀杏学園短期大学30期生で、卒業いち早く熊本で消化器内視鏡検査で有名な服部胃腸科で内視鏡業務に携わっていらっしやいます。また日本消化器内視鏡技師会の評議委員、九州消化器内視鏡技師会の役員として職能団体でも積極的に活動されています。

今回は、熊本大4年生が新しい業務に関する疑問だけでなく、社会人としての心構えなどインタビュー形式で質問していただきました。

Q 内視鏡技師と普通の臨床検査技師と違うところはなんですか？

臨床検査技師はみなさんが現在目指している国家資格です。一方、内視鏡技師とは看護師、臨床検査技師、臨床工学技士など様々な職種の方が日本消化器内視鏡技師会の認定試験に合格された方に与えられる認定資格となります。簡単に言ってしまうと内視鏡の専門知識と技術を身に付けたコメディカルとなります。

Q 仕事内容を教えて下さい。

私の職場での主な業務は、内視鏡業務と腹部超音波検査を行なっています。腹部超音波検査は大学の実習があるので、みなさんご存じかと思います。

一方、内視鏡業務については大学では学びませんのでピンとこないと思いますが、内視鏡検査等の介助、内視鏡の洗浄・消毒、また内視鏡機器の保守管理を行っています。

内視鏡検査は医師が実施しますので、いわば内視鏡検査の裏方のお仕事となります。

最近、私は『タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会』を受講しました。その結果、これまで看護師が行っていた内視鏡下での組織の採取、検査時のルート確保などの業務を行うことが認められましたので業務の幅がこれまで以上に増えました。



Q なぜ内視鏡技師になられたのですか？

前置きとして当院は全国で有数の検査件数を行っている内視鏡専門施設となります。

恥ずかしながら私自身当初は、現在の職場は超音波検査が主業務で内視鏡はおまけ程度かなと思い、就職しました。実際就職した時は、大学では習ったことがほとんどなく、無知な状態で業務に携わり、雑用のような業務で正直面白くないなあと考えた時期もありました。

ただ時間の経過と共に内視鏡検査・治療の介助、機器管理について奥が深いことを知り、また大学では学ばない内視鏡業務に必要な薬理学や専門知識を学び実践していくことで、次第に医師や看護師から頼られる存在になることを実感し、内視鏡の魅力に惹かれていきました。そういった中で自分の存在意義をもっと見出し、内視鏡専門施設の職員として貢献するため、また自分自身のスキルアップの為に内視鏡技師の資格を取得しました。

もちろん、もう一つの主な業務である超音波検査士(腹部)の資格も取得してます。

Q 休みの日は何をして過ごされていますか？

ゴルフが趣味なので月1回はゴルフをしてストレス発散してます。(スコアによっては余計にストレスになることもありますが…(笑))

また子供もいますのでお出かけしたりしています。

近年は日本消化器内視鏡技師会、九州消化器内視鏡技師学会、熊本県消化器内視鏡技師会の運営にも関わっておりますので、会務の業務をすることも増えてきました。

学生の皆様については就職したての時は一度きりの人生なので、遊べる時は思いっきり遊んでください。ただ自己学習することもお忘れなく。

Q 就職した際に新人として大切なことは何ですか？

誰でもそうですが、卒業直後の就職したては右も左もわかりません。

分からない時にはすぐに上司に相談・報告することが大切です。私たちは患者様に関わる職業です。上司に相談・報告せずにそのままやり過ぐと、時には患者様の命に係わることもあります。新人は分からないことがあって当然です。恥ではありませんのでしっかり相談・報告して下さい。

また就職して現場で働いている以上、ある時期までは上司の指導・監督の元業務を行うと思いますが、患者に医療行為を行う以上、実習ではなく本番です。

超音波で例えるならプローブを患者様に当てた時点である程度の責任を負うことになります。超音波検査は、施設によって検査内容の異なる患者様に対応していくと思いますが、多くの施設では治療の必要がない正常の患者様がほとんどで、癌や急性疾患など治療が必要な患者様にあたることはごく少数です。こういったごく少数の患者様を検査した時にしっかりと診断できるようになるためにも、専門書などで自分の知識を蓄え、備えることが大事だと思います。

『教えてもらう』だけでなく、どれだけ『自ら学ぶ』ことを取り組むかが今後の社会人として成長に影響を及ぼします。

そして医療は日々進歩しております。進歩する医療に後れをとらないよう自分が関わる業務の学会・勉強会に積極的に参加して新たな知識を得ることも忘れないで下さい。

また患者様は自分の病気に不安を抱えて病院を受診されます。そういったときに患者様に寄り添える臨床検査技師であって欲しいこと切に願っております。

Q 臨床検査技師のやりがいは何ですか？

私は20年近く現場で働いておりますので、中々『臨床検査技師』と限定されるとお答え辛いので『医療人』としてお答えさせていただきます。

ずばり患者様から感謝されることです。

内視鏡検査では、『安心して検査できました』『また検査しに来ます』と言われたり、超音波検査では早期の癌などを発見して治療された患者様から『ありがとうございました』と感謝される言葉を聞くと医療人として貢献できているんだなぁと実感して、また仕事を頑張ろうという気持ちになります。これは『医療人』として貢献できていると実感できるこの上ない喜びです。



最後に

学生の皆様は、内視鏡業務について大学では学ばないので縁のない医療業務だと思っているかと思います。ただ実際は、内視鏡技師資格を取得されて現場で活躍されている臨床検査技師は沢山いらっしゃいます。実際、日本消化器内視鏡技師会の運営には私も含め多くの方が携わっております。また近年では『タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会』が実施され、内視鏡業務の幅が増え、私の職場でも業務や役割が大幅に変わってきてきました。今後も医師の働き方改革の一環としてタスク・シフト/シェアが実施され、内視鏡以外でも業務の幅がどんどん広がって行くかと思っています。

臨床検査技師には患者様と直接接する部署、そうでない部署があります。接する機会が少ない部署でも患者様の命を預かっていることには変わりありません。

将来、みなさんがどういう業務に関わるかはご自身が決めることですが、どの業務でも患者様の命を預かっていることをいつまでも忘れないで下さい。

余談ですが、超音波業務、特に内視鏡業務にご興味があるなら当院では熊本保健科学大学の卒業生が5名います。実際の現場を見たい、先輩の声を聴きたいなどありましたら見学を受付けておりますのでお問い合わせ下さい。心よりお待ちしております。

熊本保健科学大学 医学検査学科 同窓会

60 周年記念事業について



熊本医学技術専門学校（京都校舎）

昭和34年（1959年）に化血研衛生検査技師養成所の創立から今年で64周年です。熊本保健科学大学医学検査学科同窓会として、令和5年度に創立60周年の記念事業を行う計画が立てられました。

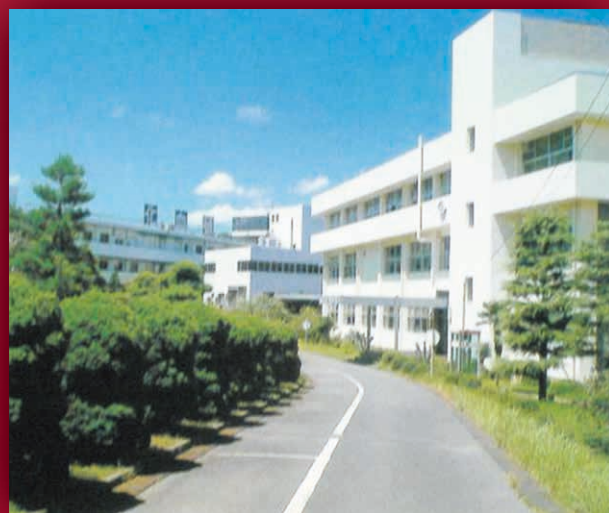
記念事業の中身も詳細には確定しないまま、令和4年に寄付のお願いを行ったところ、多くの同窓生の皆様から多くのご協力をいただくことができました。本当にありがとうございました。

た。スタッフの一員として本当に感謝申し上げます。

記念事業の一つとして、この度、熊本保健科学大学学長 竹屋元裕先生による講演会と60周年式典を計画いたしました。竹屋元裕先生のご祖父上様は、ご存知の同窓生も多くいらっしゃると思いますが、初代理事長・学長でいらっしゃった竹屋男綱先生です。（師事した同窓生の方もいらっしゃるかと思います）懐かしいお話もお伺いできるかと思っております。年度末の本当にお忙しい時期かと思いますが、皆様のご出席を何卒よろしくお願い申し上げます。

記念講演会および懇親会のご案内につきましては「あんず」のこの号の最初のページに掲載しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

今年度（令和5年度）の記念事業としては時間的制約もあり、講演会および懇親会が主となりますが、いずれは熊本保健科学同窓会としてあゆみをまとめた記念誌など、その他の企画も上がっております。



また、もっと在学生に係る事業を展開してはどうか、などの意見も上がっております。物価が年々上昇している昨今、終身会費のみではできる事業も限られてまいります。御礼を申し上げたばかりですが、今後も同窓会の運営へご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



会計資料（会計部案）

2022年度 会 計（決算案） 2022.4.1～2023.3.31			
●収入の部			
費 目	2020年度予算	2020年度決算	備 考
繰越金	6,500,000	6,792,178	2021年度より
会費	1,000,000	1,200,000	2022年度 入学生(120名)
寄付金	150,000	0	
協賛費	100,000	0	
講演会収入	250,000	0	
雑収入	4,000	1,081,729	同窓会創立60周年記念事業寄附金285件、利息
	8,004,000	9,073,907	

●支出の部			
会誌発行費	200,000	83,600	
名簿発行費	1,500,000	0	
講演会費	700,000	0	常任・評議員会、60周年記念事業WG
会議費	200,000	59,000	
支部活動費	150,000	0	
印刷費	30,000	0	評議員会案内
通信費	160,000	56,425	
事務消耗品費	30,000	0	
交通費	150,000	0	振込手数料
雑費	30,000	1,430	2022年度分
連合拠出金	50,000	50,000	
予備費	50,000	0	
記念事業費	500,000	0	
	3,750,000	250,455	

9,073,907(収入合計)－250,455(支出合計)＝8,823,452 2022年度残高

2024年度 会 計（予算案） 2024.4.1～2025.3.31			
●収入の部			
費 目	2024年度予算	2024年度予算	備 考
繰越金	6,000,000	7,600,000	2023年度より
会費	1,000,000	1,000,000	2024年度 入学生(100名)
寄付金			銀杏学園後援会
協賛費			銀杏学園(大学)
講演会収入			参加費
雑収入			利息等
	7,000,000	8,600,000	

●支出の部			
会誌発行費	180,000	180,000	「あんず」Web化
名簿発行費	1,500,000	50,000	名簿調査費等
講演会費	700,000	500,000	第46回同窓会
会議費	200,000	200,000	常任・評議員会 等
支部活動費	150,000	150,000	支部会(沖縄 広島 鹿児島 福岡 関西)
印刷費	30,000	30,000	封筒印刷代等
通信費	160,000	160,000	評議員会案内等
事務消耗品費	30,000	30,000	
交通費	150,000	150,000	支部会(沖縄 広島 鹿児島 福岡 関西)
雑費	20,000	20,000	
連合拠出金	50,000	50,000	同窓会連合 2024年度分
予備費	50,000	50,000	
記念事業費	1,000,000	500,000	60周年記念事業関係(2022年度から継続)
	4,220,000	2,070,000	

2023年度 会 計（中間報告） 2023.4.1～2023.12.31			
●収入の部			
費 目	2023年度予算	2023年度中間報告	備 考
繰越金	8,800,000	8,823,452	2022年度より
会費	1,000,000	1,250,000	2023年度 入学生(125名)
寄付金		0	
協賛費		0	
講演会収入		0	
雑収入		0	
	9,800,000	10,073,452	

●支出の部			
会誌発行費	180,000	0	
名簿発行費	1,500,000	1,274,923	名簿調査費
講演会費	700,000	0	
会議費	200,000	39,000	常任・評議員会(2回)
支部活動費	150,000	0	
印刷費	30,000	0	
通信費	160,000	98,539	
事務消耗品費	30,000	0	
交通費	150,000	0	
雑費	20,000	1,870	
連合拠出金	50,000	0	
予備費	50,000	0	
記念事業費	1,000,000	0	
	4,220,000	1,414,332	



事務局よりお知らせ

60周年記念事業が少し遅れながらも進行しています。コロナの影響で自粛していた講演会や懇親会もどうにか開催出来そうです。久しぶりに同窓生のみなさんとお会いできるのを楽しみにしています。

「あんず」に関するご意見やご要望をお待ちしております。また住所や姓名、勤務先等が変わられた場合には、お手数ですがご連絡をお願いします。個人情報につきましては厳重に管理し、同窓会に関する連絡のみに使用します。どうぞご理解下さい。

連絡先

〒861-5598 熊本市北区和泉町 325

熊本保健科学大学医学検査学科同窓会事務局 野中喜久

TEL. 096-275-2183 FAX. 096-245-3172

e-mail egdousou@kumamoto-hsu.ac.jp